

令和6年度 出前講座一覧

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	対象学年					担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名
						小	中	高	特	団体等		
県の課題	101	人材育成基本方針(教諭等)の考え方	60分程度	「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」についてその基本的な考え方、趣旨について具体的に説明します。	島根県の公立学校で勤務する教諭・養護教諭・栄養教諭として求められる資質・能力についてキャリアステージごとに解説します。自分自身の研修計画、キャリアプランニング等を考えていく上で参考にしてもらえると考えています。	○	○	○	○	○	学校企画課 人材育成スタッフ/ 保健体育課 健康づくり推進室/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	村上 深田 杉原 福田
	102	人材育成基本方針(事務職員)の考え方	60分程度	「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」についてその基本的な考え方、趣旨について具体的に説明します。	島根県の公立小・中・義務教育学校で勤務する事務職員として求められる資質・能力についてキャリアステージごとに解説します。自分自身の研修計画、キャリアプランニング等を考えていく上で参考にしてもらえると考えています。	○	○				学校企画課 人材育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	大賀美 三浦
	103	学校管理職等育成プログラムの考え方	60分程度	「学校管理職等育成プログラム」についてその基本的な考え方、趣旨について具体的に説明します。	島根県の公立学校で勤務する管理職・主幹教諭として求められる資質・能力について解説します。自分自身の研修計画、キャリアプランニング等を考えていく上で参考にしてもらえると考えています。	○	○	○	○	○	学校企画課 人材育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	坂根 村木
幼小連携・接続	104	子どもを中心につなげるしまねの幼小連携・接続～幼児教育で育つ力～【演習】	60分～90分	幼児期の子どもたちは、幼児教育における総合的な学びを通して、資質・能力を育てています。子どもたちの「遊んでいる姿」から幼児教育で育つ力を読み取っていきます。	「幼児期の子どもたちは、幼児教育施設でただ遊んでいるだけ?」「どんな力を育てているの?」といった声にお答えし、幼小連携・接続を推進したい方に対してお役に立てると考えています。	○					教育指導課 幼児教育推進室 (島根県幼児教育センター)	宮崎 岩成
生徒指導	105	いじめの問題への対応	30～90分	教職員がいじめの定義を正しく理解し、いじめの認知に関する教職員間での共通理解を図ることにより、それぞれの学校のいじめ防止基本方針に沿った対応について考えていきます。	「これはいじめに当たるの?」「未然防止や早期組織対応と言われるけど実際はどうすればいいの?」などといった方のお役に立てると考えています。	○	○	○	○		教育指導課 子ども安全支援室 各教育事務所	細木
	106	アンケート調査を活用した学級集団づくり(基礎編)	30～60分	アンケートQ-Uの概要を理解することにより、直面する課題に対して、学級集団に対するチームでの働きかけや面談を通じての個人への働きかけについて考えていきます。	アンケートQ-Uは実施しているが「結果をどのように活用してよいか分からない」「分析の仕方が分からない」などといった方のお役に立てると考えています。	○	○	○			教育指導課 子ども安全支援室 各教育事務所	細木
	107	自死予防に関する取組	30～60分	アンケート調査や教育相談等の実施により、悩みを抱える児童生徒の早期発見につなげ、保護者や他機関と連携しながら組織的に対応することの重要性について考えていきます。	「未然防止の為にどんなことをしたらいいの?」「希死念慮や自死企図に対してどう対応したらいいの?」などといったケースのお役に立てると考えます。	○	○	○	○		教育指導課 子ども安全支援室 保健体育課	細木
人権教育	108	しまねがめざす人権教育	80～90分	「人権教育指導資料第2集」を柱に、島根がめざす人権教育について理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。	子どもの抱える困難の背景が多様化・複雑化するなかで、子どもたちが安心して学びに向かえるために、学校でできることは何かについて考えます。 各学校の実態やニーズに合わせたモデル事例等を用い、一人一人の子どもの背景に目を向けながら必要な支援や取組を検討します。	○	○	○	○	○	人権同和教育課	折坂
	109	「人権学習」の授業づくり	90分	「人権学習」を充実させるための、授業づくりのポイントについて理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 【受講対象について】 受講人数8名以上であれば、学年部単位での申込も可能です。	「人権学習」とはどのような学習か考えます。その上で、充実した「人権学習」にするために、授業づくりのポイントを学びます。 学校の実態やニーズに合わせて、各学校で実際に行われる「人権学習」の授業や演習用の指導案を用いて、課題点や改善点等を検討する演習を行います。	○	○	○	○		人権同和教育課	折坂
	110	性の多様性が認められる学校づくり	60～90分 ※オンデマンド併用の場合は、50～60分も可	令和2年度に発行した「性の多様性が認められる学校づくり」リーフレットの内容に触れながら、「SOGI」「LGBT等」について理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 前半の講義部分については、オンデマンドで事前に視聴しておくことができます。オンデマンド配信を併用する場合、指導主事が訪問しての出前講座は60分程度で実施ができます。	【前半:講義】 多様な性の構成要素に着目し、すべての人に関わる「SOGI」について理解します。(この部分はオンデマンド配信による研修が可能です) 【後半:演習】 各学校等の実態やニーズに合わせた演習を行い、性的指向・性自認等で悩んでいる子どもも含め、誰もが安心して生活できる学校づくりのためにできることは何かを検討します。	○	○	○	○	○	人権同和教育課	折坂
	111	学校と社会福祉との連携	60～80分	すべての子どもたちの学びの保障の実現のために必要な、社会福祉との連携について理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。	子どもの抱える困難の背景が多様化・複雑化するなかで学びの保障を進めるためには、社会福祉との連携により家庭支援を行うことが効果的な例も少なくありません。なぜ今社会福祉との連携が必要なのか、具体的にどのようにつなげればよいかを学びます。	○	○	○	○	○	人権同和教育課	折坂

令和6年度 出前講座一覧

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	対象学年					担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名
						小	中	高	特	団体等		
健康教育	112	学校保健・食育に関する健康課題の理解と対応	60分	令和2年度に改訂した「学校保健計画策定の手引～しまねっ子元気プラン～」の内容に基づき、学校保健や食育に関する課題の理解と対応について、講義・演習を行います。	このような研修・演習を行います。 ・健康教育に関する指導についての理解とその進め方 ・食に関する指導についての理解とその進め方 ・朝食摂取・内容の改善について	○	○	○	○	○	保健体育課	沖田
算数 数学	201	算数・数学科の授業づくり	90～180分	数学的に考える資質・能力を育てる算数・数学科の授業づくりを考えたい。主な講義・演習内容 学習指導要領で目指す算数・数学科の授業の在り方 実践事例・教材の紹介 授業構想の演習 など	基本的な内容は、左の「出前可能な講座の内容」にある通りですが、学校からのニーズに合わせた内容に付加・変更することは可能です。	○	○				島根県教育センター 企画・研修スタッフ	原山崎 松原
理科	202	子どもが意欲的に取り組む理科授業づくり	90～150分	理科の授業づくり充実のための研修。主体的な問題解決学習はどのように進めればよいか、具体的な事例や教材紹介、実験、演習等をおして研修します。 ※時間や内容の詳細は、相談に応じます。 ※各市郡の教育研究会研修会でもぜひご利用ください。	自然現象との合わせ方(導入)や実験方法等、主体的な問題解決学習の進め方についてお困りの方に役に立てると考えています。	○	○				島根県教育センター 企画・研修スタッフ	高橋
道徳	203	「考え、議論する」道徳の授業づくり	90～120分	道徳科の授業づくりのポイントを探ります。チームによる教材研究(授業づくりシートの作成)を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現するための道徳科の授業づくりの演習を行います。 ※時間や内容等について、詳細は事前にご相談ください。	道徳科においても「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業が求められています。「道徳科の授業づくりに困っている」「主体的・対話的で深い学びを実現する道徳科の授業について考えたい」などといった方のお役に立てると考えています。	○	○				島根県教育センター 企画・研修スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	仙田
外国語活動 英語	204	外国語活動・英語科の授業づくり	90分～120分	小学校外国語活動・英語科及び中学校英語科の授業づくりについて、小中連携を軸にして考えます。 主な講義内容 「Can-Doでつなぐ小中連携」「小中連携を軸にした授業づくり」「目標と指導と評価の一体化」 ※各市郡の教育研究会研修会等でもぜひご利用ください。	小学校外国語活動・英語科で求められる英語の力とは？中学校ではどんな授業を目指しているの？など、授業力向上のためには小学校、中学校がお互いを知ることが大切です。Can-Doリストの作成と活用などを含め、小中連携を軸にした授業づくりについての研修を通じ、授業力の向上をめざします。	○	○				島根県教育センター 企画・研修スタッフ	松本
学習評価	205	学習評価の在り方	60分～90分	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の基本的な考え方を理解し、指導と評価の一体化を目指した教科指導の進め方を考えていきます。	「児童生徒の学習改善につながるものにしていく」「教師の指導改善につながるものにしていく」「これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していく」ように、学習評価を考えていきます。	○	○	○			島根県教育センター 企画・研修スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	深田
個別最適	601	Well-beingな生き方を目指して～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～	60～90分	「個別最適な学び」「協働的な学び」「それらの一体的な充実」について、ポイントを整理してお伝えします。また、そこから自分たちの学校で何が出来るのかを考えていきます。 ・「令和の日本型学校教育」とは？ ・今の自分ですることを見つめてみよう。 ・学校で組織的に進めていくために出来ることは？	教育センターの研究内容を踏まえ、「個別最適な学び」「協働的な学び」それらの「一体的な充実」について、組織として同じ目線で捉え、自分たちの学校で何が出来るのか考えていきます。	○	○	○	○		浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	松田
教科等 横断	602	つなぐ！つなげる！教科等横断的な学びの第一歩	60～90分	教科等横断の視点でカリキュラム・マネジメントを進めていくための視点やポイントを整理してお伝えします。 ・「教科等横断的な学び」とは？ ・今の自分ですることを見つめてみよう。 ・学校で組織的に進めていくために出来ることは？	カリキュラム・マネジメントの1側面である「教科等横断」について、「何からはじめれば良いのか、からスタートしたい」といったニーズに応えます！また、学校の研究主題や校内目標等を踏まえた内容への変更が可能です。	○	○	○	○		浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	松田
特別活動	603	特別活動(学級活動)の授業づくり	60～120分	これから特別活動に力を入れて取り組んでいきたいという学校向けです。 学級活動(1)を中心に学級活動の意義や基本的な授業づくりについて考えます。授業づくりのポイントを知ることで、教職員が共通理解を図り、チーム学校で取り組むイメージづくりに役立ちます。	学級活動(1)の授業づくりについて、事前の活動、本時の活動、事後の活動と、どう取り組むか学校全体で考えていくことができると考えています。	○	○				浜田教育センター 研究・研修スタッフ	片岡
複式教育	604	複式学級の学習指導	90～120分	～複式学級における授業づくりのポイント～ 複式教育についての基本的な考え方、複式学級の授業づくり、特に学年別指導のポイントや児童の主体的な学習を促すガイド学習等について実践事例を基にした講義、演習等を行います。 (複式学級新任担当者研修で実施した講義内容をもとに行います)	複式学級の授業づくりについて、どのように取り組むかを実践事例をもとに考えていくことができます。	○					浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ	中村

令和6年度 出前講座一覧

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	対象学年					担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名		
						小	中	高	特	団体等				
生活	605	生活科の授業づくり	60～120分	学習指導要領で示されている方向性を理解し、生活科の授業づくりについて、講義や演習等を交えて考えます。 【講義・演習】 「学習指導要領で目指す生活科の授業づくり」	生活科の基本的な授業づくりの内容になります。「今まで実践してきた授業は本当に良かったのか不安。」「授業づくりのポイントが知りたい。」といった方のお役に立てると考えています。	○					○	浜田教育センター 研究・研修スタッフ	片岡	
図画工作 中学校美術 芸術(美術)	606	図工・美術の授業づくり (指導と評価編)	60分～90分	①講義「学習指導要領で示されている方向性と内容の理解」 ②演習「指導と評価の一体化」	図工や美術の新学習指導要領で目指す方向性を理解し、これからの授業づくりについて『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料「学習指導案から考えていきます」。	○	○	○			○	浜田教育センター 研究・研修スタッフ	松田	
図画工作 中学校美術 芸術(美術)	607	図工・美術の授業づくり (希望領域演習編)	60分～90分	①講義「学習指導要領で示されている方向性と内容の理解」 ②演習(希望領域の演習を行います)	図工や美術の新学習指導要領で目指す方向性を理解し、演習を通して児童生徒になって授業づくりを考えていきます。	○	○	○			○	浜田教育センター 研究・研修スタッフ	松田	
教育の 情報化	301	クラウドの強みを生かした 授業改善	90～120分	情報の共有・蓄積、考えの可視化が容易で、いつでもどこでも利用できるクラウドの強みを生かした授業づくりについて講義や演習を通して考えます。 ○講義 GIGAスクール構想第2期に向けて求められるICT活用指導力、クラウドの強み、取組の実践例 等 ○演習 学びの充実のためのクラウド活用 ※学校で活用しているタブレット端末を使用します。そのため、事前にメール等で学校のICT環境について確認させていただきます。 ※時間や内容は事前に相談に応じます。	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けてICTを活用する必要性は感じているが、授業でどのように活用すればよいか教職員全体で目線合わせをしたいといった学校にお勧めです。	○	○	○			○	島根県教育センター 研究・情報スタッフ	高見 和田守 石倉	
	302	「デジタルをよりよく活用する 力」を育成するには	50～90分	児童生徒がデジタルの可能性を前向きに受け止め、よりよい活用について主体的に学んでいくことが求められています。児童生徒に求められる「デジタルをよりよく活用する力」とはどのような力なのか、どのように育成していけばよいのか、講義や演習を通して考えます。 ○講義 児童生徒に育みたい「デジタルをよりよく活用する力」とは、情報モラル教育・デジタル・シティズンシップ教育の考え方や事例、動画教材・資料の紹介 等 ○演習 「デジタルをよりよく活用する力」を育むための授業づくり等 ※学校で活用しているタブレット端末を使用します。そのため、事前にメール等で学校のICT環境について確認させていただきます。 ※時間や内容は事前に相談に応じます。	児童生徒がタブレット端末をよりよく活用するためにどのような指導が必要か学校全体で目線合わせをしたいとお考えの学校にお勧めです。最短50分からの設定のため、通常の職員会議の時間に合わせた研修も可能です。	○	○	○			○	島根県教育センター 研究・情報スタッフ	高見 和田守 石倉	
	303	プログラミング的思考を育む 授業づくり	120分	小学校におけるプログラミング教育の目的、必要性についての理解を深め、プログラミングを実際に体験しながら、児童の試行錯誤を大切にしながらプログラミング的思考を育む授業づくりについて考えます。 ○講義 「小学校プログラミング教育の基本的な考え方」 ○演習 プログラミング的思考を育む授業づくり(プログラム体験を通して) ※学校に設置されているタブレット端末を使用します。そのため事前にメール等で学校のICT環境について確認させていただきます。	「プログラミング的思考力とは何か」、「どの授業でどのように取り扱ったらよいのか」といったことを授業づくりの視点から考えます。小学校プログラミング教育の授業づくり悩んでいる学校にお勧めです。	○	○				○	島根県教育センター 研究・情報スタッフ	高見 和田守 石倉	
特別支援 教育	401	多様なニーズに応じた 指導・支援の基盤とは (ワークショップ)	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進のために、配慮を必要とする児童生徒について理解し、その対応について一緒に考えます。	学習上や生活上の児童生徒の様々な困難さについて、学校のニーズに応じて、疑似体験や演習を通して、実際に感じてもらうことで、理解を深めていきます。	○	○	○	○		○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	土井 太田	
	402	通常の学級における 気になる子どもの 見方について考える ～子どもの見方とらえ方～	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、子どもの見方を変えることで目の前の姿や行動を見つめ直し、子どもの視点から指導や支援について考えます。	子どもを理解するには、その行動の背景を考慮することが大事です。仮想事例や実際の具体的な場面を通してその背景を考慮することで、具体的な支援方法へのヒントが見つかります。	○	○	○			○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	土井 太田	
	403	合理的配慮の提供 ～個への対応～	90～120分	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、「合理的配慮とは何か」「合理的配慮と基礎的環境整備について」「具体的な合理的配慮」について考えます。 A:基礎編・・・基礎から学んでいきましょう。 B:実践編・・・「前年度までの403講座」または、「A:基礎編」を受講された方対象。具体的な事例をもとに合理的配慮の提供について考えます。	グループでの演習を通して、合理的配慮を行うに当たり、学校で何をしたらよいのか、様々な視点から考えます。	○	○	○	○		○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	土井 太田	
	404	高等学校における 配慮を必要とする生徒の 支援について考える ～青年期の支援について～	90～120分	高等学校における配慮を必要とする生徒の理解と対応について一緒に考えていきます。生徒自身が自己の良さに気づき、主体的な社会参加を実現するための大人のかかわりについて、事例を通して考えます。	事例を通して、高等学校段階の配慮を必要とする生徒への理解を深め、校内でどのように支援していったらよいのか考えます。						○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	土井 太田
	405	読み書きに困難のある児童 生徒の理解とICTを活用した 支援について	90～120分	読み書きに困難さのある児童生徒について、疑似体験や事例を通して理解します。また、デジタル教科書や音声付き教科書、ICT端末の標準機能などを活用した読むことや書くことの支援方法について、講義や演習等で学ぶ内容です。	通常の学級で学ぶ読み書きに困難さのある児童生徒の多くが、教科書などの文字から情報を得ることや板書などを書くことに苦慮しています。GIGAスクール端末などを活用しながら、自分に合った読み書きの方法を見つけるための、支援について考えてみませんか。	○	○				○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	土井 太田

令和6年度 出前講座一覧

教科等	講座コード	講座名	講座時間の目安(時間)	講座内容	講座内容のポイント	対象学年					担当・連携する課・室・センター(部署名)	担当者名	
						小	中	高	特	団体等			
教育相談	501	保護者と学校のよりよい関係づくり	60～90分	学校が保護者の方とよりよい関係を築く上で大切な「関係づくりの基本姿勢」や「具体的な対応方法」等を、教育センター作成の校内研修プログラム「保護者と学校のよりよい関係づくり」を活用して分かりやすく学びます。	ありそうでなかった「保護者の方との関係づくり」を考える校内研修のプログラムがこれです！9つのプログラムを1つのDVDにまとめてあり、どれもスイッチを押すだけで簡単に研修に取り組むことができます。再現動画で分かりやすく学び、対話型演習で、校内の教職員みんなまで対話し、考え、それぞれの学校に合った答えを見つけ、共有することができるよさを体感しませんか！	○	○	○	○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	羽根田 恩 田	
	502	次へのヒントが見つかるケース会議	60～90分	「解決志向」の考え方にに基づき、「次の一手を生み出すケース会議」の運用について参加者全員で体験的に学びます。講義と演習を組み合わせて行います。	情報共有だけに終わるのではなく、「前向きな解決策のヒントが見つかる」「短時間でできる」ケース会議の手法について学びます。	○	○	○	○	○	浜田教育センター 教育相談スタッフ/ 島根県教育センター 教育相談スタッフ	恩 田 羽根田	
	503	愛着(アタッチメント)形成に課題のある子どもの理解と支援	120分～150分	愛着(アタッチメント)の課題についての基礎的な理解を深め、学校でのかかわりにおいて大切にしていきたいことについて、講義形式で学び、明日からのかかわりのヒントになることを見つけていきます。	近年“愛着(アタッチメント)”についての視点を持ちながら、子どもたちを理解し、支援していくことの大切さについて、教育の世界でも注目されるようになってきました。学校全体でチームとして子どもたちへの支援をしていくために、まずは“愛着(アタッチメント)”について、みんなで「知ること」から取り組んでみませんか？そして、これまでのご自身の実践を“愛着”の視点で見つめ直し、明日からの支援のあり方について考えてみましょう。	○	○	○	○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	羽根田 恩 田	
	504	不登校の理解とよりよい支援を考える	90～120分	不登校について、子どもやその保護者への理解を深め、よりよい支援や校内体制のあり方について、講義と演習を通して学びます。	不登校という課題に学校としてどのように向き合っていけばよいのか、不登校児童生徒及びその保護者とのよりよいかかわり方・・・など不登校の初期対応や継続支援のあり方について意見を出し合い、深めていきましょう。	○	○	○	○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	羽根田 恩 田	
	505	気にかかる子どもへの理解とかかわり方を深めるワーク	90～120分	日頃、自分が気にかかる子どもを思い浮かべ、教育センター作成の『気にかかる子どもに関するワークシート集』にあるワークシートを活用し、子ども自身をとらえ直したり、関わり方を見つめなおしたりします。明日からのよりよいかかわりの手がかりを見つけていく「子ども理解」のワークです。	日常の慌たしさの中で少し立ち止まって、自分が気にかかっている子どもやその子にかかわる自分を見つめなおすことができるワークです。子どもや自分に対して新たな気づきを得られたり、プラスの感情が湧いてきたりします。ワークシート集には、「子どもをとらえ直すシート」が9種類、「かかわり方を見つめるシート」が11種類あります。自分の取り組みたいシートを選び、取り組むことで、子どもへの理解を深め、よりよいかかわり方を見つけましょう！	○	○	○	○	○	島根県教育センター 教育相談スタッフ/ 浜田教育センター 教育相談スタッフ	羽根田 恩 田	
学校事務	206	事務グループ活動の推進	90～180分	事務グループの役割・進め方についての講義・演習 ※原則事務グループ(単位)を対象とした講座(複数グループも可、おおむね20名を限度)	事務グループ活動について、各市町村において推進しているところですが、「事務グループで何をしたらいいかわからない」「具体的な進め方について知りたい」場合に事務グループで考える機会の支援ができると考えています。						○	島根県教育センター 企画・研修スタッフ/ 学校企画課	三浦 大賀美